



稲福

# 平成26年度 学校経営計画 那覇市立石嶺中学校

錬心

石嶺中学校は「人間性豊かで、たくましく生きる生徒の育成」のため、  
尊重(respect)・協働(share)・体験活動(experience)を実践します。

## 学校経営3つの理念

スピード感

学社融合

地域協働

## 主な教育活動の概要(2014年度)

### 1 特色ある取り組み

- 平成23年度～25年度 県教育委員会研究指定校 研究領域 「生徒指導」
- 食農教育の充実(教材園・熱帯果樹園等)
- 人権教育、平和教育の推進
- 地域連携事業の推進(旗頭・琉舞・空手等)
- サマースクールの充実(学校・保護者・地域)

### 3 キャリア教育の視点を踏まえた学力向上の取組 今日的意義の共通理解と実践

- (生きる力の育成・後継者育成・社会の人材・街づくり)
- ・家庭学習の習慣化と充実(授業との連動と点検活動)(石嶺中学校家庭学習のルールと手引き配布)
- ・わかる授業の構築に向けた指導方法の工夫・改善
- ・基礎・基本の定着、校内研修や公開授業の充実
- ・なりたい自分 なる自分
- ・奉仕、体験活動の充実
- ・各種検定試験の推進

### 2 教育環境の充実

- 学校・家庭・地域・関係機関が協働する学校づくりを推進する
- 確かな学力の定着と主体的な学習態度の育成を図る
- 地域の特性を生かした教育課程の編制を推進する

### 4 生徒の学習・生活面の教育情報の積極的な提供

- 学校情報の発行
  - ・学校通信、学年、学級便りの発行
  - ・保健、図書館、進路通信の発行
- インターネット(石嶺中 Web ページ)による情報発信(月1回更新)
- 保護者、地域とともに作成した安全マップ配布
- 地域の青少年健全育成団体との連携強化
- 保護司、民生委員、指導員、補導員との連携

## 1 学校経営



- 経営目標**
- ①学社融合・地域協働による組織的・機動的な学校運営体制を確立する。
  - ②生徒一人ひとりに確かな学力の定着と、主体的な学習態度を育成する。

- 経営方針**
- ① 教師個々が、生徒の教育に情熱を燃やし、自信と誇りを持ち、教師の個性が発揮される学校づくりを推進する。
  - ②教職員・保護者・地域、研究機関等が連携を密にし、地域の特色を生かした創造的な学校づくりを推進する。
  - ③生徒一人ひとりの可能性を引き出し、心の居場所や絆づくりを推進する。

### 経営の重点

#### 1 授業改善・学力向上

授業公開(全教諭)  
指導方法の工夫・改善の成果を共有し言語活動の充実を図る。

#### 2 規律ある学校づくり

人権尊重の理念を実践に活かし、思いやりの心と規範意識の向上を図る。

#### 3 居場所づくり・絆づくり

学校内外を問わず、文化・スポーツ等を体験させる機会をできる限り多く設定する。

### 推進体制

- 石嶺中学校 PTA
- 石嶺中学校学校評議委員会
- 石嶺公民館等

- 校内研修
- 生徒指導・教育相談
- 学力向上推進

- 公民館 ○婦人会 ○老人会
- 青年会 ○各関係機関

校長  
教頭

指導・助言

意見聴取

説明責任

職員会議  
(教務)

- △ 文部科学省
- △ 沖縄県教育委員会
- △ 那覇市教育委員会

- △ 企画委員会
- △ 生徒支援委員会
- △ いじめ対策委員会
- △ 学校保健安全委員会
- △ 適正就学委員会
- △ 人権教育推進委員会
- △ 学力向上推進委員会
- △ キャリア教育推進委員会

#### 1 校内研修

担当 研究主任 宮里盛史

#### 2 学力向上・授業改善

担当 学推主任 下地政章

#### 3 指導法工夫・改善

数学 稲福 智 英語 鶴田琴美

#### 2 規律ある学校づくり

生徒支援・教育相談

担当 生徒指導主事 宮城 周

教育相談担当 下地智子

積極的な生徒会 神森誠司

#### 3 居場所づくり・絆づくり

豊かな心の育成

担当 地域担当 宮城 周

青少協 瑞慶覧長大

特別支援J-ディネター

親泊道子

## 2 「校内研修」「学力向上推進」の具現化の取組

### 「生きる力」を育む学校づくり

～積極的な生徒指導に向けて・QUの活用を通して～

#### 「生きる力」の具現化を図る具体的な取組み

- 校内研修や公開授業及び学校教育活動全体を通して、学び合う場、発表の場を工夫することにより言語活動の充実を図る。  
 ※「活用する力」をはぐくむ授業づくり  
 ○生徒の実態把握の調査・分析・考察  
 ○基本的な学習習慣の形成を図る指導方法の工夫・改善  
 ○基礎的・基本的事項の定着を図る指導方法の工夫・改善  
 ○わかる授業の構築に向けた指導方法の工夫・改善



校庭の桜



校内研修

- 「確かな学力の定着」「豊かな人間性の育成」「健康・体力の向上」や「基本的な生活習慣の形成」に係る取組の充実を図る。  
 ○読み、書き、計算の力を育成する指導(漢検・数検・英検の推進)  
 ○生徒の実態に応じた補足的な指導(学習支援ボランティア等の活用)  
 ○人とかかわる体験活動の充実(言語活動の充実)  
 ○言葉による伝え合う力の育成(言語活動の充実)  
 ○**保健・安全、食育に対する指導**



先輩に学ぶ

- 生徒の「居場所づくり」と「絆づくり」を積極的に推進するため、一人ひとりの個性を尊重し、「体験活動」を充実させる。  
 ○外部講師との連携による夏休みサマースクール等の実施  
 ○職場体験学習など、キャリア教育の充実  
 ○食農教育の推進(作物栽培 総合学習、技術科と連動)  
 ○表現活動の充実(琉舞、ダンス、合唱、造形等)  
 ○地域行事等への積極的な参加(首里王朝祭や福祉祭、ハーリー等)



地域行事(那覇ハーリー)

- 健康で安心、安全な教育環境の下で、保護者、地域、各関係機関と連携した積極的な教育活動を展開する。  
 ○保護者、地域と連携した生徒指導、教育相談体制の確立  
 ○学校評議員や保護者からの積極的な意見・提言の聴取  
 ○学校施設の積極的な開放と公民館、老人会、婦人会、青年会、各関係機関等との交流促進  
 ○夜間街頭指導の強化と充実



青少協杯ボール大会

#### 教育環境の整備

・「チャイム席」と「授業開始の黙想」・「ノート指導の充実」・「早寝・早起き・朝ごはん」の奨励

## 3 石嶺中学校 生徒の「居場所づくり」と「絆づくり」



お菓子作り



合唱コンクール



ダンス同好会



職場体験学習



学級花壇コンクール



熱帯果樹栽培



中体連夏季総体



校内陸上競技大会



地域協働で取り組む石嶺中旗頭

国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>到達度テストで那覇市の平均正答率を上回ることを目指す。</li> <li>定期テストで60%程度の正答率を目標に既習事項の定着を図る。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>9割以上の生徒が課題プリント・レポートの提出を目指す。</li> <li>定期テストで60%以上の正答率を目標に基礎的・基本的内容の定着を図る。</li> <li>到達度テストでは、正答率で県平均3ポイント以上を目指す。</li> </ul>
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業での発表の場を設定し、言語活動の充実を図る。</li> <li>基礎的・基本的事項の定着を図る。</li> <li>定期テスト等で6割以上の生徒に正答率60%を達成させる</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期テストで平均60点以上を目標に、基礎基本的内容の定着を図る。</li> <li>自由研究の取り組みを活発化させる。提出率8割以上を達成させる。</li> <li>達成度テストでは、県平均・市平均を上回る。</li> </ul>
英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>「基本英単語100」を8割以上書くことができる。</li> <li>到達度テスト正答率県平均を3%以上越える。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価表を作成し、毎時間の活動を振り返えさせる。</li> <li>発声練習パターンを継続定着させ、響きのある声の出し方の指導に役立てる。</li> <li>リコーダーは8割以上の生徒が、課題の曲を演奏できるようにする。</li> </ul>
美術	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現、鑑賞の基礎基本の確実な定着を図る。</li> <li>作品を大切に作る心を育てる・9割以上の生徒が作品を仕上げることができる。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>7割以上の生徒に水泳25m以上を泳げるようにする。</li> <li>生徒の持久力を向上させる。</li> <li>機敏な集合・整列ができるようにする</li> </ul>
技家	<ul style="list-style-type: none"> <li>期末テストでクラスの2/3が70点以上を取れるよう基礎基本の定着を図る。</li> <li>生徒全員に制作品を完成させる。</li> <li>家庭分野のノート達成率75%以上を目標に、基礎的知識と技能の定着を図る。</li> <li>家庭分野の定期テスト正答率75%以上を目標に基礎的知識と技能の定着を図る</li> <li>家庭分野の定期テスト正答率75%以上を目標に基礎的知識と技能の定着を図る。</li> </ul>